

2001年3月30日

住友化学工業株式会社
アクリル材料部

成形材料検査方法の国際標準化 (新 JIS 法) に伴う規格変更のお知らせ

拝啓、貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り有り難くお礼申し上げます。

さて、掲題の件、現在弊社では、樹脂検査方法の国際標準化を進めており、本年4月より弊社取扱品目について適用開始することとなりました。これに伴い、検査方法、規格及び検査成績表が下記のように変更致します。誠に勝手なお願いではありますが、ご理解、ご協力頂きますようお願い致します。

敬具

記

1. 概要

成形材料検査方法の国際標準化に伴い、1999年11月20日、新JIS (JIS K6717-2) が公布されました。これに伴い、日本メタクリル樹脂協会では、成形材料の出荷検査方法の国際標準に迅速に対応すべく検討を行い、2001年4月1日より各社一斉に新JISによる出荷検査を実施する運びとなりました。

試験方法の変更に伴い、製品によっては規格値の見直しを行っております。成績書に記載される検査結果がこれまでの水準に比べ、多少変化する事がございますが、製品の品質については全く変わりありません。

2. 対象となる検査項目と規格

弊社製品に於きましては、以下の出荷検査項目が変更の対象になります。

ビカット軟化温度 (熱的性質)

検査荷重が10Nから50Nに変更されるため、従来法に比べ8程度低くなります。

荷重たわみ温度 (熱的性質)

アニール条件が異なるため、従来法に比べ5程度低くなります。

引張強さ (力学的性質)

従来法とほとんど同程度です。

アイゾット衝撃値 (力学的性質)

アイゾット衝撃値はシャルピー衝撃強さ (kJ/m²) に測定方法が変更されます。シャルピー衝撃強さは0.1~3kJ/m²程度低くなります。

3. 物性値 (代表値) の変更については現在検討中です。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、しばらくは旧物性値をご参照くださいますようお願いいたします。

以上